

ヨブ

聖徒伝 58

「あなたの腰に
帯を締めよ」

ヨブ記 義人ヨブの試練

【聖徒伝の今後の進め方について】

- 歴史書を、ヨシュア記からエステル記まで時系列に、諸書、預言者の書を差し挟みながら進めます。

(1年半～2年ほどで終わる予定)

■ 進め方

① モーセ5書(1年2ヶ月で終了!!)

② 歴史書&諸書・預言書(1年半～2年で終了予定)

③ 新約聖書(1年半～2年で終了予定)

➡ 約5年間で、聖書全体を学び終える予定?!です。

- しかし、時系列だとまだ取り扱っていない書が!!

➡ **それが、ヨブ記です!!**



【ヨブ記とは？】

- 諸書の一つ。最も古い書簡。
(ヨブ記、詩篇、箴言、伝道者の書、雅歌)
- 文学書・詩歌。(1～2章と42章7～17節は散文)
➡ 戯曲。(今なら、オペラ、ミュージカルのようなもの?!)
- 年代、著者は不明。
- 場所。ヨルダン川(40:23)の記述がある。
➡ 東のエドム？
ソドム、ゴモラが破壊される以前の死海沿岸は、豊かな低地だった。エドムも、ずっと栄えていた？



【推察 by三浦】

■ヨブは、ノア以降、アブラハム以前の人物？！

①アブラハムについての言及が全くない。

➡アブラハム契約も律法もイスラエルも書かれてない。

②アブラハム(享年175歳)より長生き(伝承では210歳)

➡洪水以降、寿命はだんだん短くなっている。

(ノア・950歳 ➡セム・600歳 ➡アブラハム175歳)

③恐竜(ベヘモット・レビヤタン)についての記述がある。

➡大洪水しばらくは生き延びたが、全滅。(三浦説)

■大洪水後、アブラハム以前。舞台は、カナンの東。

死海の低地が豊かだった時代のエドムの地か？



【聖書が記すヨブ】

■ 聖書は、ヨブを歴史上の人物として記録している。

■ 三人の義人(ノア、ダニエル、ヨブ)の一人。

(エゼキエル書14:14～20)

■ 忍耐の人。

「ヤコブ 5:11 見なさい。耐え忍んだ人たちは幸いだと私たちは思います。あなたがたはヨブの忍耐のことを聞き、主によるその結末を知っています。主は慈愛に富み、あわれみに満ちておられます。」

➡ 聖書を代表する義人、忍耐の人。それがヨブ。



【今日のアウトライン】

史実に基づく戯曲としてヨブ記を味わう

- | | | |
|-----|----------|----------|
| 第一幕 | ヨブを襲う試練 | 1～2章 |
| 第二幕 | 友人たちとの論争 | 3～37章 |
| 第三幕 | 神からの問い | 38章～42:6 |
| 終幕 | ヨブへの祝福 | 42:7～17 |

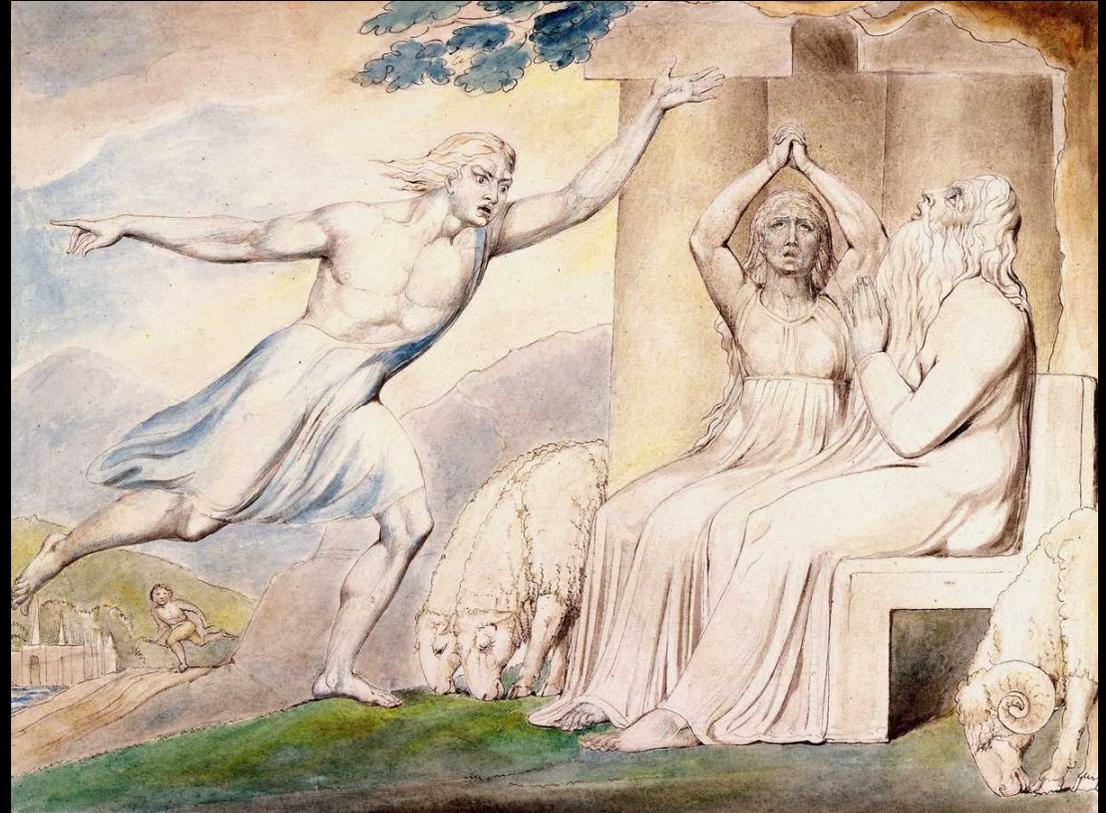
まとめと適用

ただ主の恵みに圧倒されよう
生かされているだけの私たち



第一幕 ヨブを襲う試練

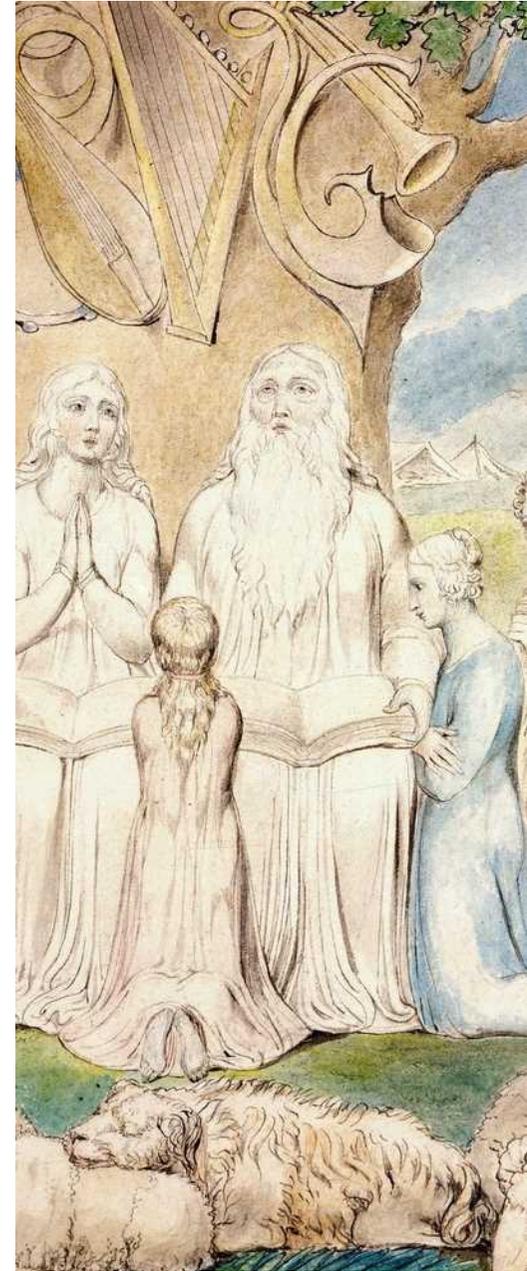
ヨブ記3～37章



【義人ヨブ】 ヨブ1:1～3

ウツの地に、その名をヨブという人がいた。この人は誠実で直ぐな心を持ち、神を恐れて悪から遠ざかっていた。彼に七人の息子と三人の娘が生まれた。彼は羊七千匹、らくだ三千頭、牛五百くびき、雌ろば五百頭、それに非常に多くのしもべを所有していた。この人は東の人々の中で一番の有力者であった。

- 神を恐れる義人ヨブは、神に祝福され、家族に恵まれ、多くの富を与えられていた。
- 家長として誠実に祭司の役割を務め、主へのささげ物を欠かすこともなかった。



【天上でのやりとり】

■ 地を巡る告発者、墮天使サタンに向かって神は言った。

ヨブ1:8「おまえは、わたしのしもべヨブに心を留めたか。彼のように、誠実で直ぐな心を持ち、神を恐れて悪から遠ざかっている者は、地上には一人もいない。」

■ サタンは、祝福を失えば、ヨブは神を呪うと答えた。神の許しを得て、サタンは、ヨブの家畜を奪い、子どもたちの命をも奪った。



【なお主を礼拝するヨブ】 ヨブ1:20～22

このとき、ヨブは立ち上がって上着を引き裂き、頭を剃り、地にひれ伏して礼拝し、そして言った。

「私は裸で母の胎から出て来た。また裸でかしこに帰ろう。

【主】は与え、【主】は取られる。【主】の御名はほむべきかな。」

ヨブはこれらすべてのことにおいても、罪に陥ることなく、神に対して愚痴をこぼすようなことはしなかった。

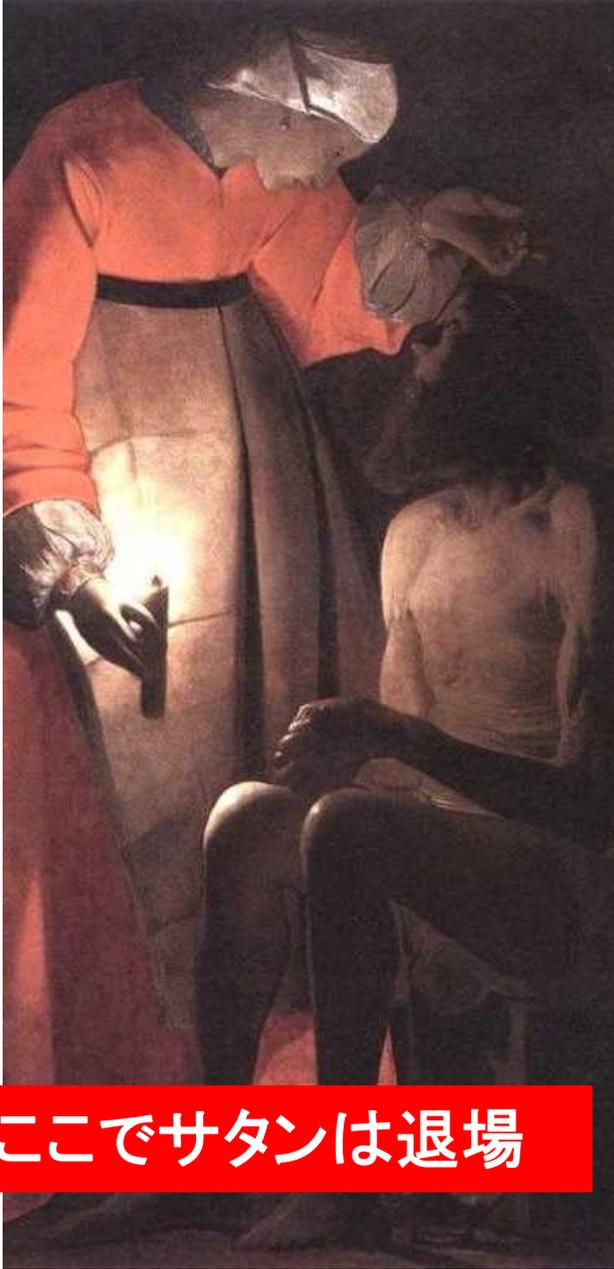
■ 子どもたちと、すべての富を失ったヨブ。

それでも、神を呪うことなく、主を礼拝した。



【さらなる試練】

- ヨブの信仰を見たか。と、神に示されたサタンは、ヨブの骨と肉を打つよう提案した。主は、命だけとはると命じた上で、サタンの試みを許された。
- ヨブは、悪性の腫瘍を患い、苦しみがあがいた。妻は、「神を呪って死になさい」と、ヨブをなじった。
ヨブ2:10 「私たちは幸いを神から受けるのだから、わざわざも受けるべきではないか。」
- なおもヨブは、神を呪うことなく、信仰を保った。サタンの試みは、二度にわたって退けられた。



ここでサタンは退場

【3人の友人たち】

■ 3人の友人がヨブを見舞った。

- ・テマン人エリファズ
- ・シュアハ人ビルダデ
- ・ナアマ人ツォファル

いずれも名を知られていた賢人たちであったらう。

しかし、彼らにできることはなかった。



ヨブ2:13 彼らは彼とともに七日七夜、地に座っていたが、だれも一言も彼に話しかけなかった。彼の痛みが非常に大きいのを見たからである。

試練は、遭遇する者をも試す。3人は、沈黙に耐えられず、口を開く。

第二幕 友人たちとの論争

ヨブ記3～37章



【生まれた日を呪ったヨブ】 ヨブ3:1～4

そのようなことがあった後、ヨブは口を開いて自分の生まれた日を呪った。ヨブは言った。私が生まれた日は滅び失せよ。「男の子が胎に宿った」と告げられたその夜も。その日は闇になれ。神も上からその日を顧みるな。光もその上を照らすな。

- 神を呪うことはなかったヨブ。しかし自らを呪い始めた。ヨブの命も神の創造物であり、自らの死を望むことは、間接的に主の業を否定することでもある。
- 死を願い、自らを呪うヨブの苦悶する姿に、とうとう、友人たちは、ヨブに向かって口を開く。



黙って寄り添えば
よかったのだが...
試練に屈した友人達

【ヨブを責める友人たち】

■ エリファズは、霊的体験をもとに、
ビルダデは、先祖達の探求から、
ツォファルは、自らの神の知識に基づいて、
それぞれに、ヨブを責めた。

■ 友人たちの主張の根っこは同じ。

- ① 神は、正しい方である。
- ② 神は、不義を行わない。
- ③ ヨブの苦難は、ヨブの罪の結果である。

彼らは、すべての責任をヨブに負わせた。
苦難を受けとめられない、自らの弱さすらも。



【孤独という試練】

■ 孤独こそ、神のヨブへの最後の試練かもしれない。
友人達に責められ、抗う中、ヨブが告げた真理がある。

ああ今、できることなら、私のことばが書かれ、書物に記されればよいのに。鉄の筆と鉛によって、いつまでも岩に刻みつけられればよいのに。

私は知っている。私を贖う方は生きておられ、ついには、土のちりの上に立たれることを。(ヨブ19:23～25)

→ 驚くべきメシア預言。メシアは来られ、贖いの業を成し遂げられ、永遠の書物に刻まれた。



苦悶の中で
磨かれていく
ヨブの信仰

【嘆きの中でも、主を見上げ続けたヨブ】

- 3人の友人との論争は、三度に渡って繰り返される。三対一、多勢に無勢で責められ続けるヨブ。信仰者と不信仰者の戦いが、地上だけのことならば、不信仰者に勝ち目はない。

- ヨブの嘆きが、心に迫る。

そんなことを聞くのはもうたくさんだ。あなたたちは皆、慰める振りをして苦しめる。(ヨブ 16:2 新共同訳)

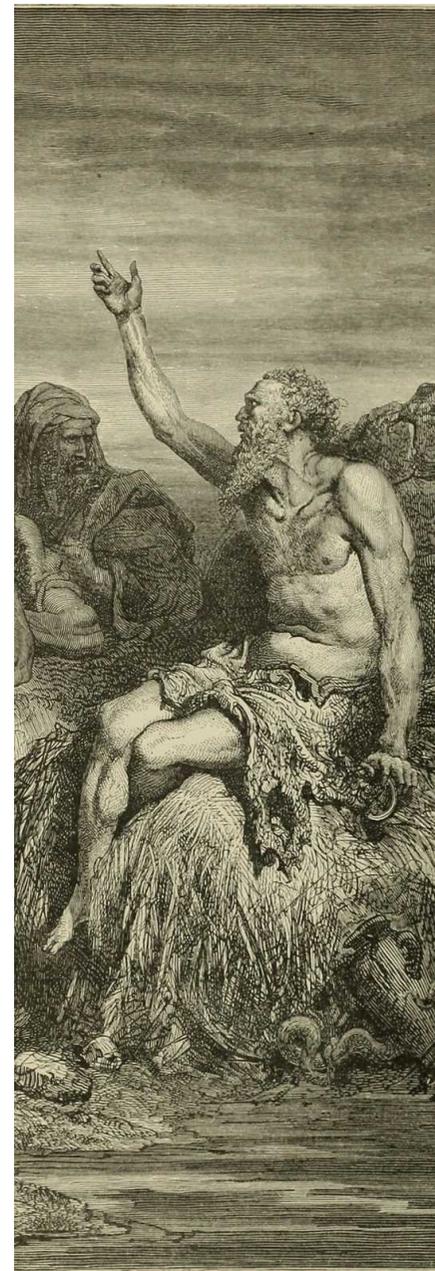
- それでもなお、ヨブの目は神に向いていた。

私の友は私を嘲る者たち。しかし、私の目は神に向かって涙を流します。(ヨブ 16:20)



【論争の終わり】

- ヨブのことばは終わった。ヨブの訴えは語り尽くされた。3人の友人たちもまた、答えるのをやめた。
- すると同席していたラム族のブズ人、バラクエルの子エリフが怒りを燃やして語り始めた。論争を見守る立場で、若輩ゆえに沈黙を保っていたエリフだったが...
- エリフは、ふがいない3人を叱り、ヨブの罪を宣告し、神の与える試練があることを告げた。形だけは、いかに正しくとも、ヨブの心には全く響かなかった。
- ヨブがひたすら求めていたのは、主ご自身の言葉だから。



第三幕 神からの問い

ヨブ記38章～42章6節



【神からの答え】

38:1 【主】は嵐の中からヨブに答えられた。

38:2 知識もなしに言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか。

38:3 さあ、あなたは勇士のように腰に帯を締めよ。

わたしはあなたに尋ねる。わたしに示せ。

38:4 わたしが地の基を定めたとき、あなたはどこにいたのか。

分かっているなら、告げてみよ。

38:5 あなたは知っているはずだ。だれがその大きさを定め、

だれがその上に測り縄を張ったかを。

38:6 その台座は何の上にはめ込まれたのか。

あるいは、その要の石はだれが据えたのか。

38:7 明けの星々がともに喜び歌い、神の子たちがみな喜び叫んだときに。

38:8 海が噴き出て、胎内から流れ出たとき、だれが戸でこれを閉じ込めたのか。

38:9 そのとき、わたしは雲をその衣とし、暗黒をその産衣とした。

38:10 わたしは、これを区切って境を定め、かんぬきと戸を設けて、

38:11 言った。「ここまでは来てもよい。しかし、これ以上はいけない。おまえの高ぶる波はここでとどまれ」と。

38:12 あなたは生まれてこのかた、朝に対して命令を下し、暁に対してあるべき場所を指し示して、

38:13 これに地の縁をつかませ、悪しき者をそこから振り落とすことがあるか。

38:14 地は押印された粘土のように姿を変え、そこにあるものは王服のように彩られる。

38:15 その光は悪しき者から退けられ、振り上げられた腕は折られる。

38:16 あなたは海の源まで行ったことがあるか。

深淵の奥底を歩き回ったことがあるか。

38:17 死の門があなたに現れたことがあるか。

死の陰の門を見たことがあるか。

38:18 地の広さを見極めたことがあるか。そのすべてを知っているなら、
告げてみよ。

38:19 光の住む所への道はどこか。闇のあるその場所はどこか。

38:20 光をその国境まで連れて行くというのか。

闇の家に至る通りを見分けるというのか。

38:21 あなたはよく知っているはずだ。

そのとき、あなたは生まれていて、あなたの日数は多いのだから。

38:22 あなたは雪の倉に入ったことがあるか。雹の倉を見たことがあるか。

38:23 これらは、わたしがとどめているのだ。

苦難の時のため、争いと戦の日のために。

38:24 光が分かれる道はどこか。東風が地の上で分かれ広がる道は。

38:25 だれが、大水のために水路を、稲光のために道を切り開き、

38:26 人のいない地、人間のいない荒野に雨を降らせ、

38:27 荒れ果てた廃墟の地を満ち足らせ、それに若草を生えさせるのか。

38:28 雨に父があるのか。露のしずくはだれが生んだのか。

38:29 氷はだれの胎から出て来たのか。空の白い霜はだれが生んだのか。

38:30 水は姿を変えて石のようになり、深い淵の面は凍る。

38:31 あなたはすばるの鎖を結ぶことができるか。

オリオン座の綱を解くことができるか。

38:32 あなたは十二宮をその時にかなって、引き出すことができるか。

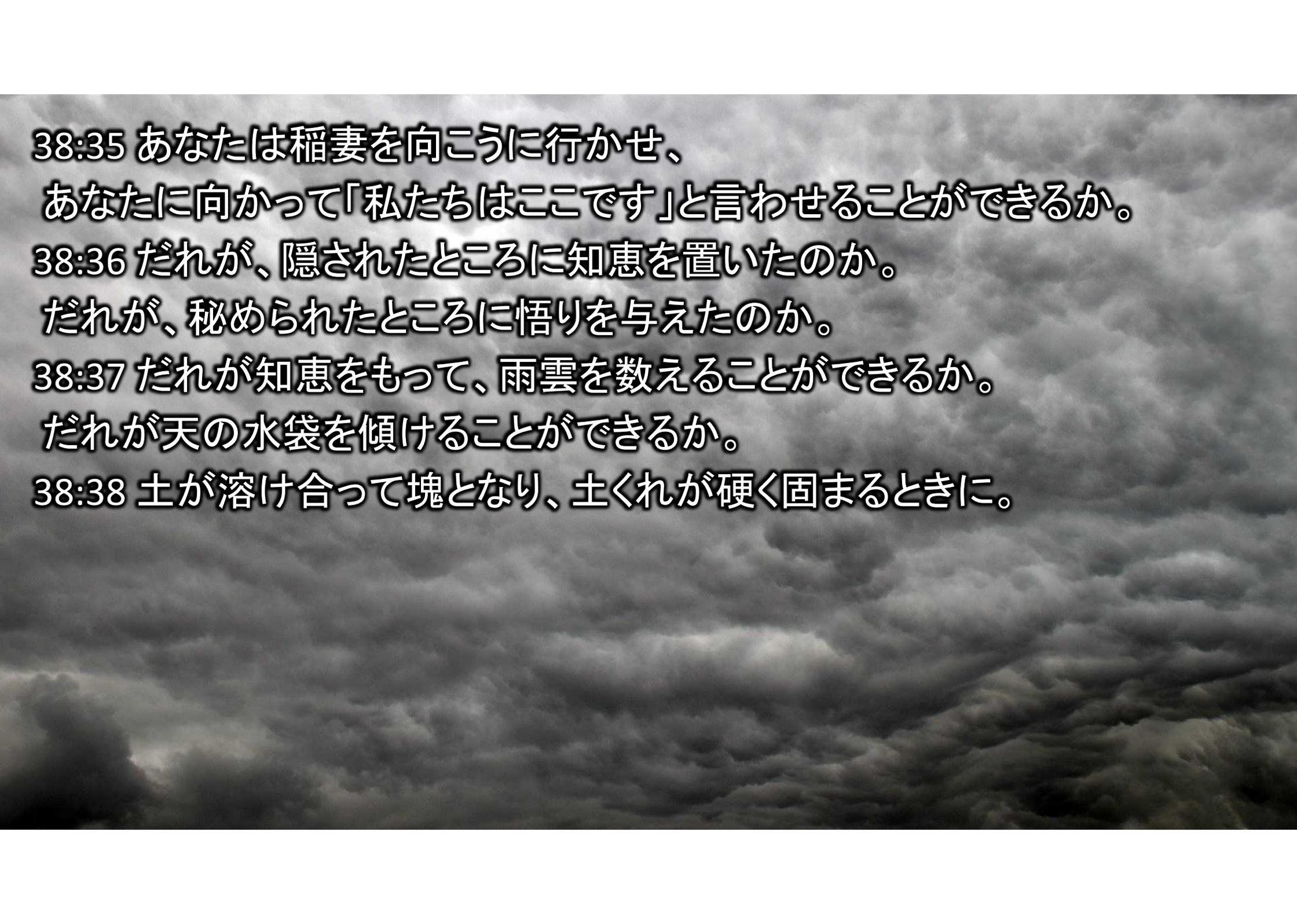
牡牛座をその子の星とともに導くことができるか。

38:33 あなたは天の掟を知っているか。

地にその法則を立てることができるか。

38:34 あなたの声を密雲にまであげ、

みなぎる水にあなたをおおわせることができるか。



38:35 あなたは稲妻を向こうに行かせ、
あなたに向かって「私たちはここです」と言わせることができるか。

38:36 だれが、隠されたところに知恵を置いたのか。
だれが、秘められたところに悟りを与えたのか。

38:37 だれが知恵をもって、雨雲を数えることができるか。
だれが天の水袋を傾けることができるか。

38:38 土が溶け合って塊となり、土くれが硬く固まるときに。



38:39 あなたは雌獅子のために獲物を狩り
若い獅子の食欲を満たすことができるか。

38:40 それらが洞穴に伏し、茂みの中で待ち伏せしているときに。

38:41 鳥に餌を備えるのはだれか。

鳥の子が神に向かって鳴き叫び、食物がなくてさまようときに。

【神からの問い】

■ 神からの問いは38章から42章に至るまで延々と続く。

一度きり、ヨブは、神に答えた。

ああ、私は取るに足りない者です。あなたに何と口答えできるでしょう。私はただ手を口に当てるばかりです。一度、私は語りました。もう答えません。二度、語りました。もう繰り返しません。(ヨブ40:4~5)

■ それでもなお、神の問いかけは続く。

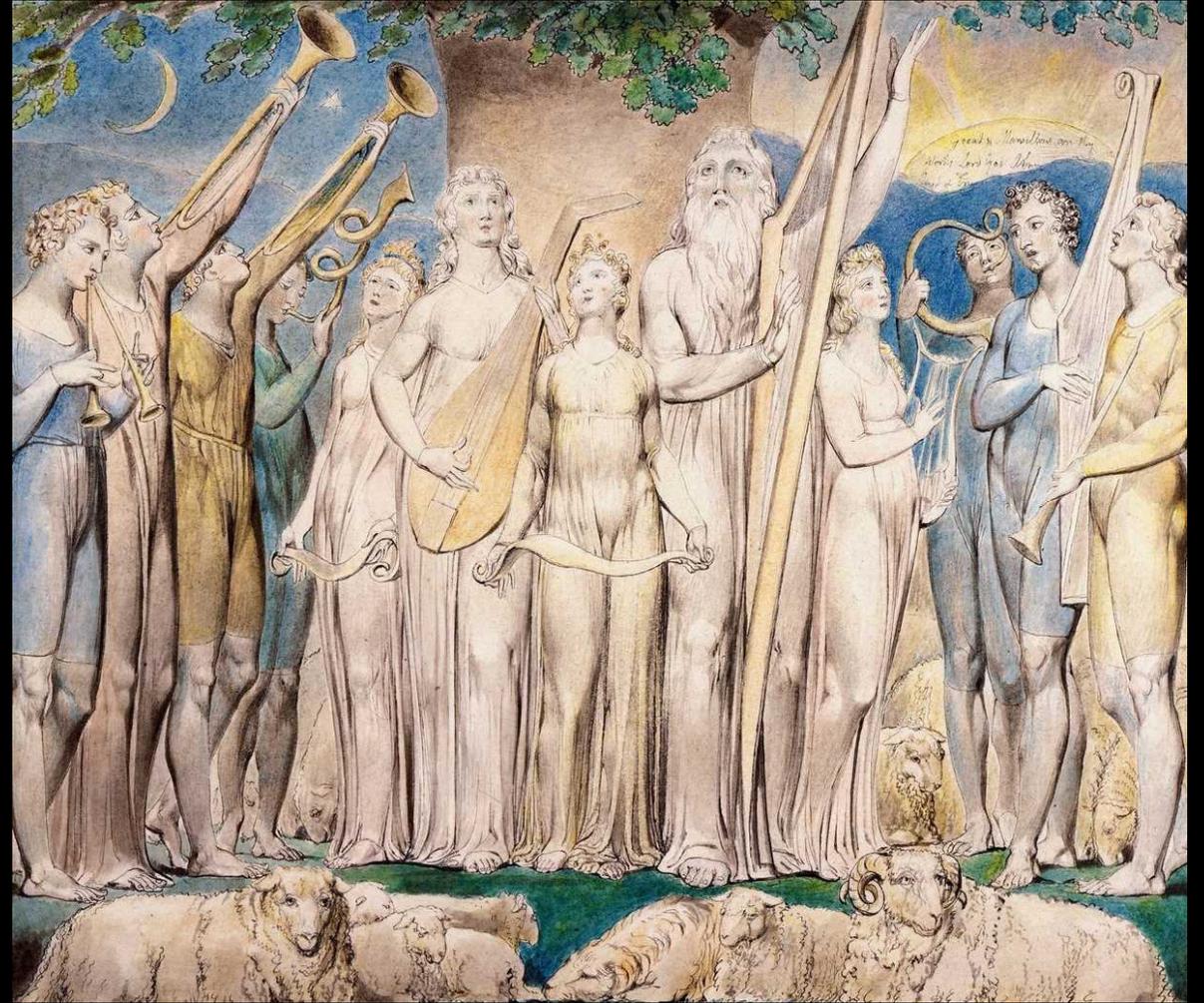
最後には、ベヘモットとレビヤタン。当時の人々が知る最大最強の生物が、細かく描写されている。

そして、主の一方的な問いかけは終わった。



終幕 ヨブへの祝福

ヨブ記42章7～17節



【ヨブの答え】

42:1 ヨブは【主】に答えた。

42:2 あなたには、すべてのことができること、どのような計画も不可能ではないことを、私は知りました。

42:3 あなたは言われます。「知識もなしに摂理をおおい隠す者はだれか」と。確かに私は、自分の理解できないことを告げてしまいました。自分では知り得ない、あまりにも不思議なことを。

42:4 あなたは言われます。

「さあ、聞け。わたしが語る。わたしがあなたに尋ねる。わたしに示せ」と。

42:5 私はあなたのことを耳で聞いていました。

しかし今、私の目があなたを見ました。

42:6 それで、私は自分を蔑み、悔いています。ちりと灰の中で。

【とりなし手・祭司としてのヨブの使命】 ヨブ42:8～10

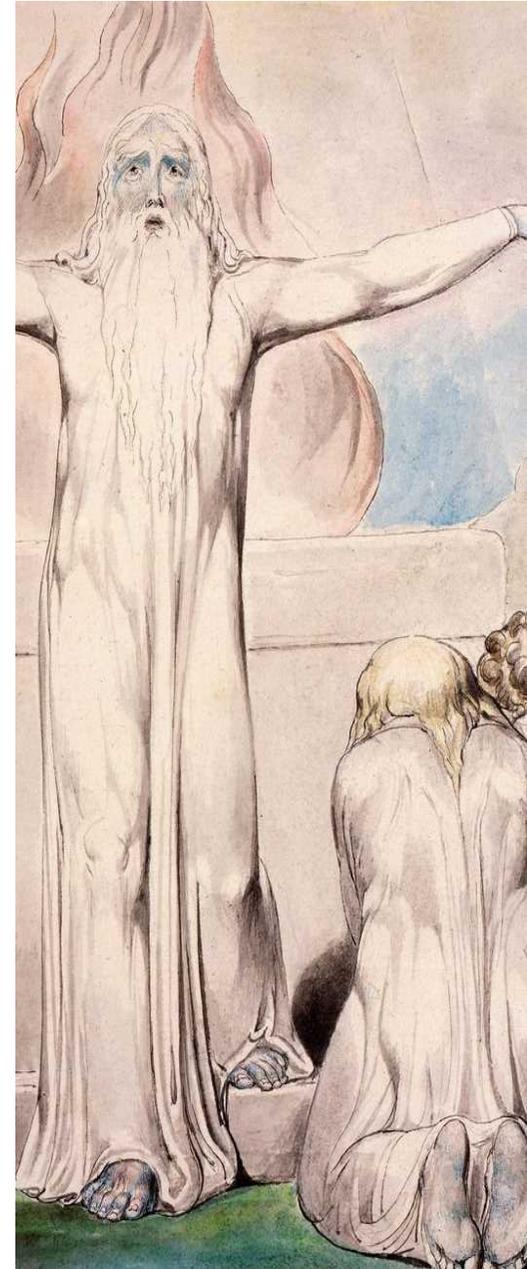
■主は、ヨブに、3人の友人の罪の贖いのため、とりなすように命じられた。友人たちも主に従って献げた。

42:8「...わたしは彼の願いを受け入れるので、あなたがたの愚行に報いるようなことはしない。あなたがたは、わたしのしもべヨブのように、わたしについて確かなことを語らなかつたが。」

■主は、ヨブの祈りを聞き、友人たちの罪を赦された。

42:10 ヨブがその友人たちのために祈ったとき、【主】はヨブを元どおりにされた。さらに【主】はヨブの財産をすべて、二倍にされた。

➡主はヨブに、とりなし手であることを求められていた。



【和解の食卓・回復された祝福】 ヨブ42:11~17

- ヨブは、すべての兄弟姉妹、知人と食事をした。ヨブと彼ら、なにより彼らと神との和解の食卓だっただろう。
- ヨブは、以前の二倍の祝福を得、新たに子を得た。3人の娘の名は、従順で美しい姿、性質を示す。エミマ(鳩)、ケツィア(シナモン)、ケレン・ハ・プク(動物の角でできた化粧容器)。
- 当時の慣習を越えて、娘達にも相続地が与えられた。
- ヨブは、この後140年生きた。(享年210歳か)
42:17 こうしてヨブは死んだ。
年老いて満ち足りた生涯であった。



まとめと適用

**ただ主の恵みに圧倒されよう
生かされているだけの私たち**



【信仰者ヨブを通して教えられること】

- 人は、苦難の中で、なぜと問うが、苦難の理由など分からない。
ただ一つ明らかなのは、すべては主のゆるしの内にあるのだということ。
ヨブは、そのことをよく理解し、主に向かって訴え続けた。
- 私たちにとって、何より重要なのは、態度や行い、言葉ではなく、
何があっても主を見上げ、主に向かい続けるというその姿勢。
- 理由は分からなくとも、主の目には、すべてに意味があると知らされる。
万物を支配される主は、信仰者に起きるすべてを益としてくださる。

【苦難のただ中にある人に接する時、覚えておくべきこと】

■ 誰も、苦難の理由など分からない。

説明しがたい苦難は、周囲の人々の信仰をも試す。

■ 他者の苦難に、たやすく口を出してしまう私たちがいる。

しかし、その人の苦難は、その人のもの。

苦難の意味など、誰も人に教えることはできない。

■ 主の御顔を仰ぎ見るとき、あなたと神の間には、サタンですら、入り込む隙間はない。ヨブは、苦難にあって主を求め、苦難の末に主を知った。

■ 苦難と孤独にあってヨブはなお、主を見上げ続けること、主に向かって訴え続けることをやめなかった。それこそが、ヨブの信仰。

【創造主との出会いの証し】



【ただひたすらに、主の恵みに圧倒されよう】

- 人生に不平不満があるならば、人にぶつせず主に向かって叫べばいい。神にケンカを売れば、人は必ず敗退する。打ち砕かれた人こそ、誰より大きな恵みにあずかることができるだろう。
- 人はただ、信仰により、恵みによって救われる。覚えるべきは、主の憐れみの福音。どうしようもない私の罪のために、主イエス・キリストは、十字架にかけられ、死んで葬られ、復活された。
- 期待は裏切られ、願いは叶わないかもしれない。それは問題ではない。大切なのは、ただ主の御顔を見上げること。それこそ、信仰者の特権。今を生きる意味と力は、必ず主が与えてくださる。押し出されていこう。

「天のお父さま。

わたしは、み子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖(あがなう)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信じます。

もう、苦難(くなん)の理由(りゆう)など、たずねません。

どうか、今を生きる意味(いみ)を、教えてください。

なすべき使命(しめい)に生きる者としてください。

ただ、御顔(みかお)を仰(あお)ぎ見、聞き従(したが)う者としてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。

アーメン」